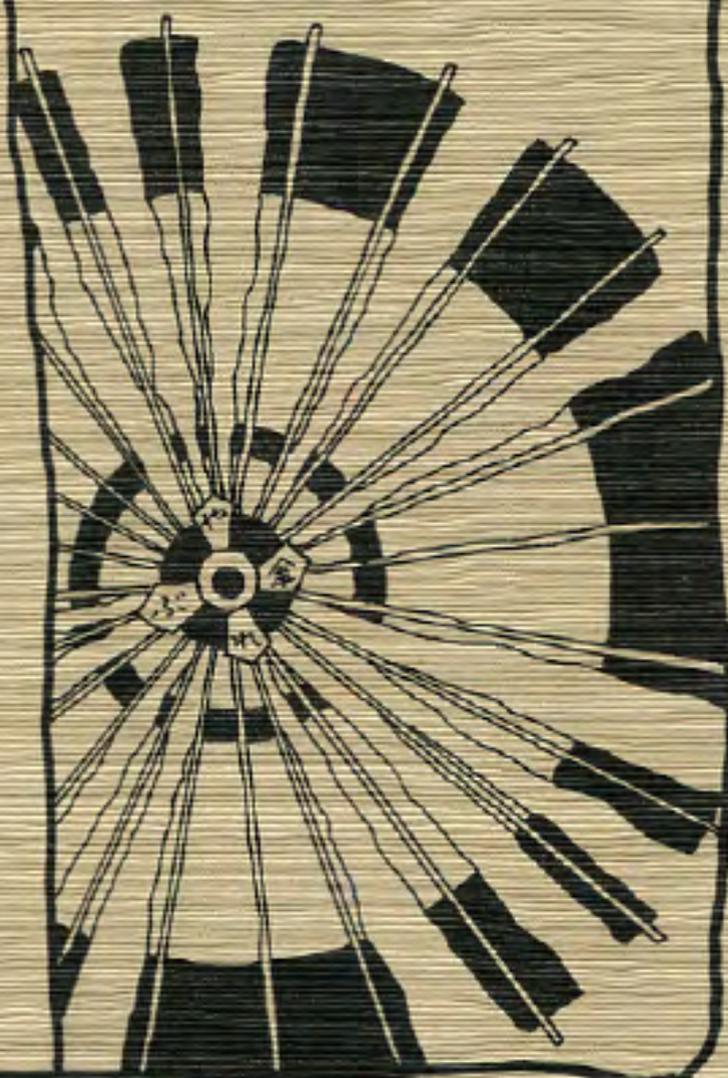


やぶれ傘



六十九号

二〇二二年十二月

どぶろくを二合宮沢賢治の忌	根橋宏次
冬銀河バブ「ぶんぶん」の点りたる	小川 滋
魚屋に刺を持たるる秋刀魚かな	さくちさみえ
おしろいの開きし家に帰りけり	丑久保 勲
四阿に埃うすうす秋の蝶	大島英昭
芋の露払ひて風の通りけり	瀬島酒望
中洲には風のあるらし枯れ芒	廣瀬雅男
葛の花まもなく確水峠へと	安藤久美子
白菜を首狩り族のことく穫る	久世孝雄
この奥は隠し階段のつべ汁	天野美登里
橋の灯の秋深まりし暗さかな	白石正朝
小春日の天窓をゆく白い雲	藤井美晴
秋空へ園児の声と竹トンボ	國保八江
門出でし輪製弦の僧に紅葉散る	渡邊孝彦
秋晴れや夕焼けだんだん石の段	有賀昌子

抄 集 句 傘 れ ぶ や
選 夫 紀 崎 大

秋閑か老いたる耳の所為ならず	松村光典
また話し繰り返す義母震災忌	松本善一
秋の風指もて髪を梳く夜は	松本正生
休耕の如一面の尾花かな	村田 武
花八つ手空地に霜のうづくまり	秋山信行
雲馴きていざよふ月となりけり	浅嶋 肇
鹿垣の杭一本が欠けてをり	安斉正藏
クレヨンのポスター秋の運動会	泉 一九
開帳の秘仏を離れ萩の風	上林富子
ふはふはと渡る吊り橋秋桜	黒木東吾
己が影踏みつつ上る秋の山	小池一司
香具師は輪切つてみせたり赤とんぼ	小山陽子
牛乗せて走るトラック鱈雲	齋藤朋子
増反の田を耕やせば鶴鶴来	眞田忠雄
しばらくは車庫に吊りおく唐辛子	時田義勝

出来鯨

大崎紀夫

鯨とんで常陸那珂川暮れにけり
砂山の先に海鳴り葛の花
月白の川かぜ土手をわたりけり
ややありてまたもごとりと芋水車
出来黙のふるふる釣られ来たりけり

赤松の切株に秋日差かな
鮭小屋に朝日棍棒にも朝日
飛び石の先に日向と梅擬
夜に入るせせらぎに稲びかりかな
窯跡の陶片拾ひをれば雪
河口へと冬霧ながれ日は白し
鴨の水脈のびゆきて日の暮れにけり

どぶろく

根橋宏次

雨のくる気配いよいよねこじやらし
二噸まで通す小橋や赤のまま
洋館は下見板張り柘榴の実
おのづから帰燕の空となりけり
ぱんと張りたる新米の紙袋
どぶろくを二合宮沢賢治の忌
這ふやうに伸びくる波や秋の鳶
帰り花ひとつふたつにとどまらず
石段に土の踊り場七五三
冬の雨茶漉しにのこる紅茶の葉

柿の秋

小川 滋

綿虫や鎮守の裏に塚丸く
秋雨に鳩の濡れ来てはたはたと
洩るる陽の桜紅葉の下に濃し
ちよん髭は口をへの字に菊人形
揺らす風なき六尺の吊し柿
紅葉川中州の岩を水樟突き
柿の秋竹竿使ひ込まれたる
崩れ築向かう岸には岩の壁
木の葉掃く公民館長やや若く
冬銀河パブ「ぶんぶん」の点りたる

力 草

きくちきみえ

用たして犬のさりゆく力草
ひと盛は熟柿ばかりで売られけり
釣り師ゆく芒よけるに攪網つかひ
魚屋に胴を持たるる秋刀魚かな
雨あとの匂ふ案山子でありにけり
栗の皮剥く包丁と糸切り歯
台風の仕事舞ひの風に雨少し
切干を煮たる鍋より日向の香
湯舟へと赤子手渡す霜の夜
ビルの間に冬の港の明かりかな

水引草

丑久保勲

おしろいの開きし家に帰りけり
道ばたの水引草に屈みけり
姦しき一行なりし萩の寺
藤袴 審 銭 箱 の 横 に 座 し
葦の花農家の庭へ続きけり
ビストロの南瓜のスープ賢治の忌
畦道を人の近づく曼珠沙華
久能山の磴まがるたび秋の海
隣り合ふ大根の畝葱の畝
鯛焼を包くみし紙の湿りかな

鴉のこゑ

大島英昭

終 点 の バ ス バ ッ ク す る 灸 花
四 阿 に 埃 う す う す 秋 の こ ゑ
鹿 威 し 打 つ を 待 ち ゐ る 薄 紅 葉
草 原 に 自 転 車 置 き 場 鴉 の こ ゑ
新 藁 の に ほ ふ 日 暮 と な り に け り
由 緒 書 き ひ と 隅 剥 が れ 鴉 の こ ゑ
初 め て の 道 と な り け り 赤 の ま ま
竹 林 に 立 冬 の 日 の こ ぼ れ け り
土 地 の 名 は 二 枚 橋 に て 石 菫 の 花
骨 接 ぎ は 坂 の 途 中 に 冬 も み ぢ

芋の露

瀬島洒望

無造作に積み上げ胡瓜特売日
朝霧の中よりぬつと種雄牛
白粉花や母屋の裏にガスボンベ
浮き雲や草の絮飛ぶ草の原
昼餉にとじやがたらいもを蒸かしけり
芋の露払ひて風の通りけり
白粉花にシヨルダーバッグ触れにけり
秋の蛾の壁を動かぬままにゐて
ななかまどこのまま行けば湯西川
鶏頭や芝居小屋より相撲取

枯れ芒

廣瀬雅男

一本め丸太の橋や赤のまま
花ひとつ咲かせてゐたり名残茄子
黍嵐雀の群れの散りぢりに
暮るるには間のある空を渡り鳥
ましろなる瀬戸の小鉢に菊臈
綿菓子やうな雲浮く稲架の上
役場へと大根畑抜けゆけり
木の葉浮かせて堰越ゆる流れかな
中洲には風のあるらし枯れ芒
風花や山路の茶屋の店仕舞

◇ 1月・2月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
1月	1月休講	3月2回	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	4日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	8日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	8日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	9日(水)	PM7:00	ざんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	19日(土)	PM2:00	セヨリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	23日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	26日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬 雅男
	27日(日)	PM2:00	やぶれ草句会	WEP俳句教室	WEP編集室
2月	1日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	1日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	4日(月)	PM7:00	ざんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	5日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	5日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	16日(土)	PM2:00	セヨリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	17日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	不忍池・湯島	丑久保 勲
	23日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬 雅男
	24日(日)	PM2:00	やぶれ草句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	27日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP

(注) ざんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

1月NHK教室は休講。3月29日(第5金曜)へ振り替え。

2月17日(日)の吟行。集合は10時。JR上野駅公園口改札口。

東京文化会館の前です。句会場は森下文化センター第3会議室。

◎ 連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ